

優れた思考力育成法 「シンキングツール」で関西の 抜群人気校に! 関西大学初等部

先が見えない21世紀を生きている子どもたちに、教育として何を与えられるのか。その問題提起に対する解答を「思考力の育成」として明確に提示している小学校がある。関西大学初等部だ。思考力を育成するとはどういうことなのか。その中身を取材した。



取材
アンテナ・プレススクール校長
石井 至さん

いしい・いたる／1965年北海道生まれ。東京大学医学部卒。PhD。当誌アドバイザー。駐日ルワンダ共和国大使館特別顧問、関西大学経済・政治研究所研究員、東京都大学付属小学校学校評議員などを務める。『慶応幼稚園』（幻冬舎新書）など著書多数。



三宅貴久子さん

関西大学初等部 第6学年主任、
ミューズ、総合学習担当

みやけ・きくこ／1956年、鹿児島県生まれ。鹿児島大学教育学部卒業。岡山大学教育学研究科修士取得。現在、関西大学大学院総合情報学研究科博士課程後期課程。岡山市立平福小学校、岡山市立津島小学校等を経て2010年4月から現職。

School Data

所在地／大阪府高槻市白梅町7-1
交通／JR京都線・高槻駅から徒歩約7分、阪急京都線・高槻市駅から徒歩約10分
開校／2010年4月
児童数／381人（男子179人、女子202人）
＊2013年4月1日現在
入試説明会／2013年6月30日、7月21日、8月25日
詳細はweb（<http://www.kansai-u.ac.jp/elementary/index.html>）参照
問い合わせ／初等部事務室 ☎072-684-4301

「思考力の育成」を目指す

石井 御校が掲げる目標に「思考力の育成」がありますが、なぜ、その取り組みを始めたのか、経緯を教えてください。

三宅 当校は3年前に開校した新しい学校です。開校する1年前、開校準備室にさまざまなバックグラウンドを持つ教員が集まりました。新しいこの学校をどういう学校にしようかと、集まった教員たちで日々議論したのです。いろいろな意見が出ましたが、意外とすんなりとコンセンサスになったの

は「思考力の育成」でした。ただ、そうはいっても具体的にどうするのか。内容に引っ張られて考えること自体を学べないという意味がないと思い、結局「ミューズ学習」という授業を設けて、「考えることを考える時間」を設定することにしました。そして身に付けた「思考スキル」を各科目の授業でも活用する仕組みにしたのです。

石井 御校では「シンキングツール」や「ループブリック」など、独特な手法を取り入れています。まず「シンキングツール」について教えてください。

三宅 「シンキングツール」は「ループブリック」とともに「ミューズ学習」の道具として活用しています。「シンキングツール」とは情報を書き込むためのフォーマットで、6つのそれぞれの思考スキルに対応した図があります。思考スキルを「考えるための技法で、具体的な行動レベルで示されるもの」と定義した上で、「比較する」「分類する」「多面的にみる」「関連づける」「構造化する」「評価する」の6つとしています。6つに限定したのは、現場で実践的に研究している教師たちの意見を聞いて絞り込んだもので、現時点で理

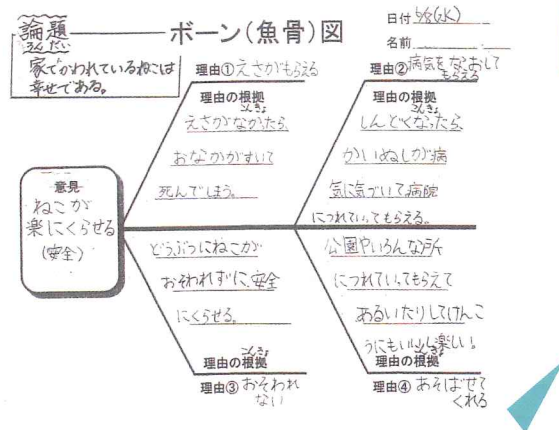
石井の After Interview

家庭でも使える 思考力育成ツール

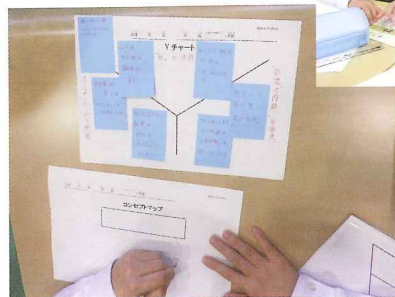
関西大学初等部を取材しようと思った理由は二つある。一つは関西の小学受験事情に詳しいジャーナリストから、「今、関西では関大初等部が一人勝ちです」と言われたからだ。

もう一つは金沢工業大学がきっかけだ。金沢工業大学の偏差値は40台後半だが卒業時には一流企業にたくさん就職する「学生を伸ばす大学」として、今一番旬な大学の一つだ。その金沢工業大学の看板講座「プロジェクトデザイン」のオリジナル・テキストで、実は関西大学初等部が著したテキスト『関大初等部式思考力育成法』が参考文献に挙げられていたのだ。興味を持ってすぐに買って読んでみた。続編の『思考ツール』も読んでみて、思わずうなった。これだけ体系的で実践的で、すぐに使える「思考力育成法」はないと思った。三宅先生の話を聞いて、すさまじい努力と試行錯誤の結果であることもわかった。

ぜひ前述2冊をお読みいただき、ご家庭でも活用していただきたい。



ボーン図の例（『思考ツール』
さくら社刊／P 53より引用）



シンキングツールの
使用の活用



ミューズ学習の風景

ループブリックの例 「高槻市について調査しよう」というテーマの場合

評価	基準
S	高槻市の特色ある場所の様子に関心をもち、意欲的に調べ、集めた情報を分類し、自分の住んでいる市と比較しながら、高槻市の特色を見つけようとしている
A	高槻市の特色ある場所の様子に関心をもち、意欲的に調べ、集めた情報を分類し、高槻市の良さを見つけようとしている
B	高槻市の特色ある場所の様子に関心をもち、意欲的に調べ、集めた情報を分類できるが高槻市の良さをを見つけようとはしない
C	高槻市の様子に関心をもちないし高槻市の様子を意欲的に調べようとはしない

（『思考ツール』関西大学初等部／さくら社刊／P 44より石井が改変）

目標を明確にして 達成感を味わわせる

石井 では「ループブリック」とはどのようなものですか？

三宅 「ループブリック」は学習到達状況の評価基準です。当校では、S・A・B・Cの4段階で評価しますが、授業の導入部分で、課題についてどこまで達成すればいいのかを明示し、教師と児童が共有することで、目標を明確にします。「高槻市の様子を知る」という3年生の社会科の課題では、左上の図のように設定しました。

石井 「思考スキル」を学んだ児童たちは、今後はどのようなようになっていくのでしょうか。

三宅 まさにこれからの児童の活躍が問われるわけですが、関西大学初等部は基礎をつくる場所だと考えています。中等部には「考える科」という科目があり、初等部で学んだことを活用します。高等部では、「プロジェクト科目」を設置し、課題を見つけ、調査や分析を行うなどして探求する力を養い、自ら考え行動できる問題解決能力を伸ばしていきます。